

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 特色ある学校づくり推進経費
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	2	総合的な学習の時間の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 52212001 事業開始年度 平成 1 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	特色ある学校づくり推進経費
------	------	------------	---------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 児童・生徒
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 登別温泉入浴体験、総合的な学習の時間、生活科の実施、の3事業を通し各学校の特色ある学校づくりを推進する。 【登別温泉入浴体験】市内の小学3年生を対象に登別温泉地区の旅館・ホテルで温泉入浴を体験する。また、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学も行う。 参加児童：8校410名、受入施設（登別温泉地区）：第一滝本館外7件、交通手段：バス借上げ12台、教育課程の位置付け：第3学年の社会科及び副読本の学習の一環とする。指導時数は全体で5時間程度。 【総合的な学習の時間】地域の自然や環境、人材を活用し創意工夫を生かした教育活動を推進する。 講師講演：11件（中学校4件、小学校7件） 小学校（3年生以上）：主に野外での体験学習（バス借上げ14件）、中学校：主に企業等での職場体験学習（バス借上げ3件、バスチケット交付398件） 【生活科の実施】小動物の飼育や学校菜園等を通し、児童の健やかな成長を育み命の尊さや自然に親しむ心を育てる。 小学校（1、2年生）：花いっぱい運動一年草購入（8校48ケース）外
目指す姿（成果）	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 産業や自然など地域の素材を活かし、児童・生徒がものづくりや社会体験・観察を通して、自ら学び、考え、自立への基礎を養うことを目的とする。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 学習指導要領

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	市内小中学校	校	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13				
	登別温泉入浴体験	人	目標値	408	429	393	447	387
			実績値	410				

事業費の推移

区 分				単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計		
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	千円	2,261					0		
	道支出金	名称		千円						0		
	地方債	名称		千円						0		
	その他	名称		千円						0		
	一般財源	名称		千円	1,048	4,721	4,121	4,121	4,121	12,363		
合 計					3,309	4,721	4,121	4,121	4,121	12,363		
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費				職 員	千円	1,322	1,385					
				嘱 託 員	千円	0	0					
				臨時職員	千円	0	0					
				合 計		1,322	1,385					

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 各学校ごとに創意工夫をこらした学習活動を行うことにより、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができる。また、学習を通じ、地域の魅力の再発見など、児童生徒が学ぶことも多いため、市が事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 学校の立地条件にあった学習等、独自性が形成されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 一つのテーマを複数年掛けて学習する、複数の学習テーマをまとめて一つのテーマへつなげるなど、学習テーマの選定を検討する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最低限の予算でより効果的な学習活動を行うよう努めているが、施設見学等の経費も見込まれているためコスト削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	各学校の創意工夫による学習活動を行うことで、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができる。また、学習を通じ、地域の魅力の再発見など児童生徒が学ぶことも多いため、市が事業を行うことは妥当であると考え。地域の実態や特性を生かした創意ある活動に努め、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進するために必要な事業である。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）